

自立自律学習
自ら考え行動できる子を育てる

 **育脳寺子屋**

指導のてびき

目次

1.はじめに	P3
2.「育脳」のゴールとは	P4
3.使用教材について	P5
4.注文書の使い方	P7
5.各学年の教材・指導の注意点など	P8
6.体験授業の流れ	P10
7.授業の流れ	P11
8.各教材の進め方	P13
9.よくある質問	P19



1.はじめに

この度は育脳寺子屋教室に加盟して頂き、誠にありがとうございます。育脳寺子屋の理念をご理解頂き、子どもたちに良き指導を広める手助けをして頂ける事は非常に嬉しく思います。また、育脳寺子屋を通して先生ご自身も大きなやりがいを感じ、充実した日々を送って頂けることと確信しています。

育脳寺子屋の指導に関する詳細をこの冊子にまとめましたのでこれを熟読頂き、授業にお役立て下さい。

授業をして頂く上で留意して頂きたい点は以下です。

「教える」授業ではなく、「子供たちに自分で考えさせる」授業をして下さい。

→授業は子供たちが何からするかを決め、自分のペースで進めていきます。この「自主性」が大切ですので、授業は教え過ぎず、分からないところはワンヒントだけ与え、自分で答えにたどり着けるようにしあげて下さい。

返事をしっかり「はい！」と言うように、指導して下さい。

→たかが返事ではありません。間違った時にぶすっとした表情をしていると間違い直しが終わりません。逆に明るい表情で「はい」と返事をするとすぐに正解にたどり着きます。これは脳医学でも実証されていることなのですが、ぶすっとした表情の時は脳が全く働いていないからなのです。

育脳トライアルはただ○×だけをしないでください。

→育脳トライアルは○×で採点できない問題や、子どもが自分の考えを述べる問題が多々あります。参考の解答を用意していますが、それとは違う解答をしていくことがとても多いのです。しかし、その場合も×をするのではなく、「なぜこの答えになったの？」とその答えになった理由を聞いてあげて欲しいのです。そしてその理由がよほどの外れなものでなければ○をしてあげて下さい。そうすることで、子どもたちは、考える楽しみを覚えます。

育脳トライアルが1冊終わるごとに生徒と保護者に感想文を書いて頂きます。

→育脳トライアルは月に1冊のペースで進みます。これが1冊終わる度に生徒と保護者に感想文を書いてもらって下さい。保護者に感想文を書いてもらうのはなぜ？と思われるかもしれませんが、それにはちゃんとした理由があります。先述の通り、育脳トライアルには答えが一つでない問題や自分の考えを述べる問題が多々あるので、お母さんに「うちの子はこんな風に考えているんだ」ということを把握して頂く為に感想を書いて頂いているのです。また、自分の考えた解答にお母さんがコメントしてくれている事は、子供たちの「よし、次も頑張ろう」という意欲につながります。

2.「育脳」のゴールとは？

脳の持てる能力を十分に発揮し、社会の中で活躍して充実した人生を送る

「こどもを育てる」ことにある。(日本大学医学部教授、脳医学の権威林成之教授)

自己報酬神経群

脳の機能を高めるのに重要で、育脳のカギとなる部位です。自己報酬神経群はその名の通り、「自分への報酬＝ごほうび」により機能します。ここでいう「ごほうび」とは『自分でやろうと決めたことを成し遂げること』と捉える事ができます。



「やりたい」と自主性・主体性を持った時に、脳の思考力や記憶力が高まります。

(林教授)

空間認知能

空間の中で位置や形などを認識する、時間の長さを把握するなどの能力に関わります。これが鍛えられていないと、脳の才能を十分に発揮できません。空間認知能は脳の機能全体に関わるものです。



空間認知能が低いと認識を誤ったり、手順を考えられなかったり、物事を考えられなかったりと『何をやっても駄目な人』になってしまいかねません。

(林教授)

「育脳」には上記の二つが非常に大きな役割を果たします。育脳寺子屋MACではこの二つに照準をしばった**授業形態**と**オリジナル育脳教材**を使用しています。

授業形態

授業は一方通行の一斉授業ではなく、集団個別指導です。生徒たちは**自分で学ぶ順番を決め、自分のペースで学びます**。「やらされる」勉強ではなく、主体性のある授業の進め方なので吸収する力が違います。

オリジナル教材

「育脳トライアル」では**空間認知能**を鍛えるため、2ページごとに点描写を入れています。その他、積み木の数や見え方・ロープの結び目・展開図・風の向きなどの問題も入れています。

また、育脳の要件として、「**他人の気持ちを理解したり、人と心を通わせたり出来るようになることを習慣づけること**」とあります。すなわち、「心を込めて伝える力」「必ず相手の立場に立って物事を考える力」「相手を認め、尊敬して褒めること」が重要になります。育脳トライアルは〇×では答えられない問題や、自分の考えを伝える問題があります。これは、こどもたちに「人には様々な考えがある」ことを知らしめるため、また柔軟な発想からくる考えを尊重し、自らの答えに自信をもたせることを意図としています。



3.使用教材について

育脳寺子屋で使用する教材については以下の通りです。 **(注:税別表示になっております)**

教材名	使用学年	卸値(税別)	定価(税別)
育脳トライアル	全学年	¥350	¥477
育脳ワーク	2年生～	¥420	¥572
育脳計算ワーク	3年生～	¥650	¥762
伝えるノート	3年生～	¥400	¥500
そろばん導入書 (たのしくそろばんれんしゅう)	年中～1年生	¥380	¥500
かけわり練習帳①	たしひき練習帳③ と同時に開始	¥270	¥350
かけわり練習帳②	かけわり練習帳① 終了後	¥300	¥400
たしひき練習帳①～③	年中～ (たのしく終了後)	¥300	¥400
④		¥280	¥350
あんざん練習帳	たしひき練習帳④ 終了後	¥400	¥500
英単語練習帳	1年生～	¥350	¥450
ことばのワーク	3年生～	¥500	¥619
ひらがな練習帳 幼児用	年中～年長	¥600	¥743
ひらがな練習帳①②	1年生～	¥350	¥477
カタカナ練習帳③		¥480	¥667
十(じゅう)マス計算	状況を見ながら	無料配布(各自コピー)	
論語・昔話	全学年	無料配布(各自コピー)	
色紙切り絵(30枚入り)	年中～3年生	¥500	—
立体パズル	全学年	¥2,900	—
立体パズルワーク(コピーして使用)		—	—
育脳積み木	全学年	¥1,500	—
育脳積み木ワーク(コピーして使用)		¥3,000	—
ミニそろばん(たのしくそろばんの時貸し出し)	年中～1年生	¥1,000	—

MACロゴ入りかばん	全学年	¥2,200	—
モテルン	全学年	¥400	¥500(税込)※
そろばん	全学年	¥4,200	¥5,500

※モテルンのみ、税率が変わっても¥500の税込定価となります。

★教材の使用学年は目安とお考え下さい。生徒の能力によって、前後して構いません。

★入塾時には、生徒さんに「育脳寺子屋」のロゴ入りのかばんとモテルンをお渡しします。これに関しては塾負担になりますので、入塾金より捻出なさって下さい。

★生徒入塾時の教材費

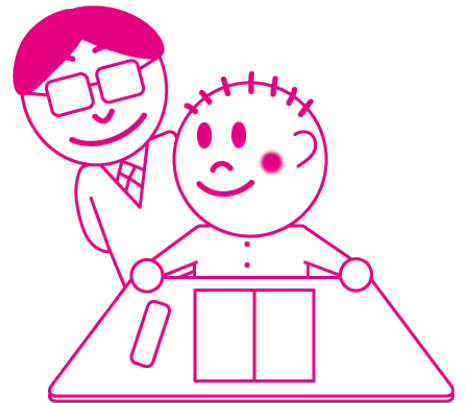
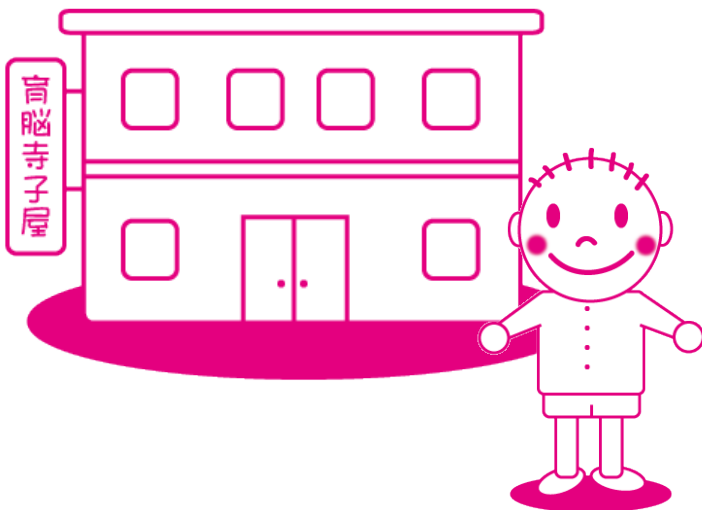
2年生までは¥2,000、3・4年生は¥4,000(共に税別)を徴収して下さい。それ以降は、生徒によって進度が違うのでその都度徴収、もしくは月額で徴収します。

※年間平均すると月々¥1,000程なので、「教材費は月々¥1,000」とされたら管理しやすいです。

★ソロバンに関しては、生徒さんがお持ちのものがあればそれをお使い下さい。お持ちでなく育脳寺子屋で購入される場合は、入塾時の教材費とは別で購入してもらって下さい。

★そろばんの教材で、年中～1年生の導入に関しては「たのしくそろばんれんしゅう」を使用して下さい。2年生以上でしたら、導入書はなしでたしひき練習帳の①からスタートします。「かけわり練習帳①・②」はたしひき練習帳③と同時に始めるので、たしひき練習帳③ご注文時に一緒にご注文下さい。

★初期教材のミニそろばんは1年生まで対象のそろばん導入書「たのしくそろばんれんしゅうちょう」に取り組む際、貸し出してあげて下さい。



4 注文書の使い方(学習塾のみに該当)

注文書には【育脳寺子屋教材】専用注文書(右上に加盟塾用の記載あり)と【育脳教材】専用注文書(教材使用)の二種類があります。この注文書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付にてご注文下さい。

育脳寺子屋コースの生徒の教材は左下の注文書、育脳寺子屋コースでない既存コースの生徒に一部の教材を教材使用させたい場合は右下の注文書でご注文頂きます。2枚一緒にFAX頂ければ一つの荷物にまとめ、合算金額で請求致します。

教材の発送方法については以下の形となります。

- ◆ 冊子物の教材 10冊までなら「ネコポス」でお送りします
→支払いは、期日までの振り込み。(振り込み手数料はご負担頂きます)
- ◆ 「ネコポス」対応範囲以上の注文の場合は代引きにてお送り致します。
→支払いは、商品引き取りの際。

注：生徒が入塾後は月に一度は必ず注文が発生します。その注文は必ず毎月21日までにを行います。

(例:4月現在は小学1年生の塾生が1人、5月からは小学3年生が入塾する場合の、5月分の教材注文)

→4/21までに注文します。5月分の教材注文ですが、ロイヤリティの計算は4月の生徒数で計算するので、注文書内の「今月の生徒数」には右の様に記入、5月の育脳トライアル注文冊数は2冊となります。(ロイヤリティは当月分、教材は次月分となります)

今月の生徒数
年中～小学2年生
1
小学3年生～

※注文は次月分ですが、ロイヤリティの計算がありますので今月分の生徒数をご記入下さい。

育脳寺子屋MAC 本部行 FAX: (075) 882-3777		【育脳寺子屋教材】専用注文書		加盟塾用								
● 発注日 年 月 日		● 住所 千		年齢 12～14 14～16 16～18 18～20								
● 教室名		● 電話番号		● FAX番号								
● 発注者名		● 電話番号		● FAX番号								
● 育脳トライアル 各¥350												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計冊数
年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	冊数

育脳寺子屋コース生の教材
注文時にご使用下さい。

育脳寺子屋MAC 行 FAX: (075) 882-3777		【育脳教材】専用注文書		送達時間指定 午前中 12～14 14～16 16～18 18～20								
● 発注日 年 月 日		● 住所 千		年齢 12～14 14～16 16～18 18～20								
● 教室名		● 電話番号		● FAX番号								
● 発注者名		● 電話番号		● FAX番号								
● 育脳トライアル 各¥350												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計冊数
年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	年中 a-1 a-2 a-3 a-4 a-5 a-6 a-7 a-8 a-9 a-10 a-11 a-12	年中 a-13 a-14 a-15 a-16 a-17 a-18 a-19 a-20 a-21 a-22 a-23 a-24	冊数

育脳寺子屋コースに所属しない生徒さんに
教材のみお使いになる場合にご利用ください。

注:立体パズル・育脳ワーク・英単語練習帳・そろばん関係の教材は教材使用ではご使用、ご購入頂けません。

5 各学年の教材・指導の注意点など

年中・年長 週1回 60分授業

入塾時に渡す教材
¥2,000(税別)徴収



・育脳トライアル ・たのしくそろばん ・ひらがな練習帳(幼児用)
・立体パズルワーク ・育脳積み木ワーク

取り組む教材・赤字はみんなで一緒に取り組む内容です。

- ・切り絵 ・育脳積み木 ・立体パズル ・たのしくそろばん ・論語、昔話 ・育脳トライアル
- ・ひらがな練習帳

注意点

- ◆幼児については、ひとクラス数名の少人数授業が望ましいです。
- ◆始めは60分で全ての内容は消化できないので、取り組む内容を飛ばすなど時間内に終わるように対応して下さい。(育脳トライアルは毎回4ページ必ずお取り組み下さい)
- ◆そろばんの導入書「たのしくそろばん」が終われば「たしひき練習帳①」に入ります。
- ◆論語・昔話に関しては、幼児は字が読めない為基本的には読み聞かせになります。先生が読むのに合わせて、字を目で追わせてあげて下さい。

小学1年生 週1回 90分授業

入塾時に渡す教材
¥2,000(税別)徴収



・育脳トライアル ・たのしくそろばん ・英単語練習帳①
・ひらがな練習帳 ・立体パズルワーク ・育脳積み木ワーク

取り組む教材・赤字はみんなで一緒に取り組む内容です。

- ・切り絵 ・育脳積み木 ・立体パズル ・英単語練習帳 ・たのしくそろばん
- ・論語、昔話 ・十マス計算 ・育脳トライアル ・ひらがな練習帳

注意点

- ◆そろばんの導入書「たのしくそろばん」が終われば「たしひき練習帳①」に入ります。
- ◆十マス計算は足し算ができるようになれば、取り組み始めて下さい。初めは足し算のみ取り組みタイムを計ります。引き算もできるようになれば引き算まで計ります。
- ◆立体パズルはできない日もあります。10分ほど取り組んでできない時は、飛ばして次の事に取り組むよう声かけしてあげて下さい。

小学2年生 週1回 90分授業

入塾時に渡す教材
¥2,000(税別)徴収



・育脳トライアル ・たしひき① ・英単語練習帳① ・育脳ワーク①
・ひらがな練習帳 ・立体パズルワーク ・育脳積み木ワーク

取り組む教材・赤字はみんなで一緒に取り組む内容です。

・切り絵 ・育脳積み木 ・立体パズル ・英単語練習帳 ・育脳ワーク ・たしひき(そろばん)
・**論語、昔話** ・**十マス計算** ・**育脳トライアル** ・ひらがな練習帳

注意点

- ◆そろばん導入書「たのしくそろばん」はせずに、たしひき練習帳の①から始めます。
- ◆十マス計算はかけ算ができるようになれば、足し算・引き算・かけ算まで取り組んで下さい。割り算もできるようにになれば、全て取り組みます。
- ◆立体パズルはできない日もあります。10分ほど取り組んでできない時は、飛ばして次の事に取り組むよう声かけしてあげて下さい。

小学3年生以上 週2回 90分授業

入塾時に渡す教材
¥4,000(税別)徴収



・育脳トライアル ・たしひき① ・英単語練習帳① ・育脳ワーク①(4年～は⑤)
・ひらがな練習帳 ・立体パズルワーク ・育脳積み木ワーク ・育脳計算ワーク
・伝えるノート① ・ことばのワーク※ナンバーは以下参照

取り組む教材・赤字はみんなで一緒に取り組む内容です。

・切り絵(3年生のみ) ・育脳積み木 ・立体パズル ・英単語練習帳 ・育脳ワーク (ことばのワーク)
・たしひき①(そろばん) ・**論語、昔話** ・**十マス計算** ・**育脳トライアル** ・ひらがな練習帳

注意点

- ◆そろばん導入書「たのしくそろばん」はせずに、たしひき練習帳の①から始めます。
- ◆十マス計算はかけ算ができるようになれば、足し算・引き算・かけ算まで取り組んで下さい。割り算もできるようにになれば、全て取り組みます。
- ◆育脳積み木はVol3か4あたりから始めます。個人差があるので、体験の際にその子のレベルを確かめて頂き、3か4のどちらから始めるかお決め下さい。
- ◆立体パズルはVol3から取り組ませてあげて下さい。Vol2は立方体なので、Vol3が終わってからVol2に戻って取り組ませても結構です。立体パズルはできない日もあります。10分ほど取り組んでできない時は、飛ばして次の事に取り組むよう声かけしてあげて下さい。
- ◆ことばのワークは小3→①、小4→③、小5→⑤、小6→⑦からスタートしてください。(これもあくまで目安になりますので、個人の能力で前後して構いません)

6.体験授業の流れ

お薦めの体験授業の流れをまとめます。初めからすべての内容を体験して頂くのは不可能ですので、約60分の内容を体験して頂きます。体験する内容は以下です。

年中～小3

- ・ 切り絵
- ・ 立体パズル
- ・ 育脳積み木
- ・ 育脳トライアル※

この四つで約60分の取り組みとなります。
残り時間によって、育脳トライアルに取り
組むページ数をお決め下さい。

小学4年生以上

- ・ 立体パズル
- ・ 育脳積み木
- ・ ことばのワーク
- ・ 育脳トライアル※

この四つで約60分の取り組みとなります。
残り時間によって、育脳トライアルに取り
組むページ数をお決め下さい。

※ 体験で使用する育脳トライアルは『親子で育脳トライアル』をご使用下さい。体験を受ける生徒だけではなく、親御さんも一緒に取り組んでもらうことで生徒もより「楽しい」と感じ、入塾に繋がりがやすくなります。またその親子で育脳トライアルはプレゼントにし、「残った部分は家でやってね」と声かけをします。家でも再び取り組み、「楽しい」が持続すると、より入塾の可能性が上がります。

60分の体験をしてもらった後で「実際に入塾されたら他にこのような事に取り組んで頂きます」と他の教材を見せ、口頭の説明をして頂ければ十分です。体験の際にはCD-Rの中にある保護者向け資料をお渡し頂き、寺子屋コースの理念や育脳についての説明をなさして下さい。

7.授業の流れ

育脳寺子屋本部教室の授業の流れです。あくまで参考にさせて頂き、各教室でカスタマイズして頂いて結構です。授業時間・月謝等を変更したい場合はご相談下さい。

「先生が」ではなく、「子どもたちが」どのように自立自律学習を進めていくかご覧下さい。

～小学2年生

・最初はきり絵をします。



切り終わったら先生がチェックします。

・各自が好きな順番で以下の内容を学びます。

- ・立体パズル
- ・育脳積み木
- ・育脳ワーク(2年生のみ)
- ・英単語練習帳(1年生から)



・そろばん(残り時間を見てどれだけ進むか指示)

小学3年生以上

・最初は宿題(育脳計算ワーク)提出。
先生が丸つけ・採点をします。



不正解があれば直しをします。

・各自が好きな順番で以下の内容を学びます。

- ・切り絵(3年生のみ)
- ・ことばのワーク
- ・立体パズル
- ・育脳積み木
- ・育脳ワーク
- ・英単語練習帳
- ・伝えるノート



・そろばん(残り時間を見てどれだけ進むか指示)

・算数文章題(同上)

共通

1時間ほどしたら全員で「論語」「昔話」を読みます。

その後、10マス計算(2分計る)・育脳トライアル(3分計る)をします。
(年中～小2は、育脳トライアルは4ページ進んで下さい)

丸つけをします。特に、育脳トライアルの問題で、答えが一つでないような問題はなぜその答えにしたのか生徒に聞いてあげて下さい。

・各自の学習に戻ります。

・すべて終わればひらがな・カタカナ練習帳をして終わります。

★年中・年長さんの授業については、極力小学生と時間を分けてあげて下さい。

もし、別時間の設定が困難な場合は全員で一緒にする論語・昔話・10マス計算・育脳トライアルの時間をもう少し早めて年中・年長さんが60分で終了するように調整してあげて下さい。

どのように「自学自習」できるようになるか？



本部教室の生徒の引き出しです。

この引き出しが生徒の「自学自習」のキーとなります。

生徒には一人に一つ、自分の「引き出し」を用意してあげて下さい。スペース的に引き出しが難しいようであれば「カゴ」のようなものでも結構です。

生徒は、教材を全てこの「引き出し」に入れておきます。毎回持って帰るのは筆記用具・そろばん・3年生以上は宿題となる育脳計算ワークくらいです。

生徒は、塾に来たらず引き出しから全ての教材(=その日取り組む教材)を取りだし、自分の机まで持って行きます。後は一つ取り組んで先生にチェックしてもらう度に、引き出しに終わった教材を戻していきます。そうすれば、残り時間を見ながら「あとこれだけは終わらせないと」と、自分で計画を立てる能力が付きます。

ただ、生徒が入塾した段階ではまだ「自学自習」はできませんし、どの教材は一日どれだけ進めば良いのかわかりません。なので最初のひと月は、「最初はこれをするよ。終わったら先生の所に持ってきてね」「次はこれをするよ、これも終わったら先生の所に…」と一つ一つ指示をしてあげます。そして、一カ月経ったら指示を出さず「自分で考えて勉強してみよう。今までどのようにしていた？」と、自学自習に移行していきます。ここからがやっとスタートラインです。

注意点

- ◆一カ月経って自学自習に移行する時、スムーズに対処出来る子、そうでない子と差が出ると思いますので、様子を見ながら声かけしてあげて下さい。ただ、必要以上に気にかけると自学自習できるようになるのが遅くなります。
- ◆たまには引き出しの中をチェックし、生徒がちゃんと全ての教材に取り組んでいるか確かめて下さい。たまに嫌いな物は取り組まず飛ばしているケースがあります。

8.各教材の進め方

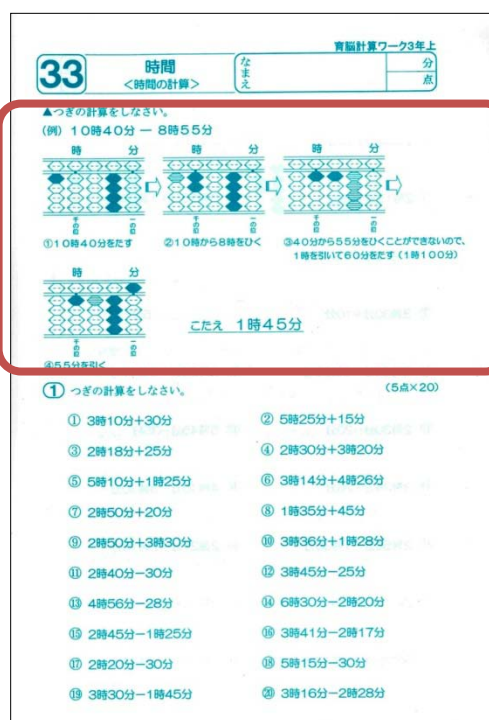
育脳寺子屋で使用する教材の使い方をまとめてあります。P11 の授業の流れと照らし合わせながらご確認頂ければ分かりやすいです。授業を進められる参考になさって下さい。

育脳計算ワーク

小学校 3 年生以上の宿題 (1日1ページ、週2ページです)

3 年生以上は最初に宿題を採点します。丸つけをして点数を記入して下さい。間違いがあればその直しをして、全問合ったらそれぞれの学習に入っていきます。

※丸つけが終わった後、次の宿題が新單元かどうかチェックして下さい。基本的には、学校より先行して学びます。新しい單元にはやり方を載せていますが、書いてあることを理解して自分で解いていくことの出来ない子もいます。そのような子の場合は、最初の 2 問程を一緒に解いてあげて下さい。そして、残りを宿題にします。



このように解説を載せています。最初の 2 問程は一緒に解いてあげて下さい。

※ 計算問題の導入部分にも理解をしやすいようにそろばんの絵を入れていますが、実際の計算は学校でならっているひっさんで行う様に指示して下さい。

※ 3 年生以上で入塾してきた場合、そろばんを始めていないのに導入部分にそろばんの説明が出てくることになります。その場合、そろばんの絵は気にせず進ませてあげて下さい。

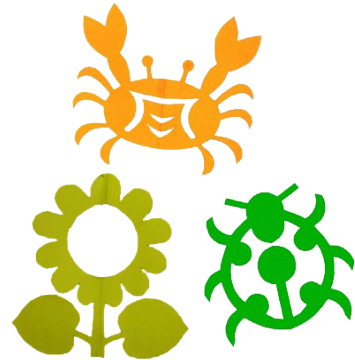
※ あまりに間違いが多い場合、直しだけでかなりの時間を使う可能性があります。その場合は直しも次回の宿題とし、次回は今回の直し+新たに1ページという様に指示してもかまいません。

切り絵

年中～小学3年生（1日1つ取り組みます）

点線に沿って折り紙を折ります。そして実線に沿って切っていきます。切り終わったらチェックをして生徒に渡します。もし、余裕があれば一人一冊ノートを用意して切り絵を貼っていても良いと思います。本部教室ではクリアファイルを用意してあげ、終わればそこに挟んでいくようにしています。たまればまとめて家に持ち帰らせてます。

※中には2度折ってから切る物や、難易度の高いものもありますので幼児さんにあまり難しいものが当たらないようにご配慮下さい。



立体パズル

年中から3冊終了するまで（1日1つ取り組み、できたら色を塗ります）

毎回1個だけで結構です。左ページの枠の中にブロックを組んでいきます。同じ形に組めたら、右のページに組んだブロックの形に色を塗ります。先生はそれをチェックしてチェックハンコを押してあげます。

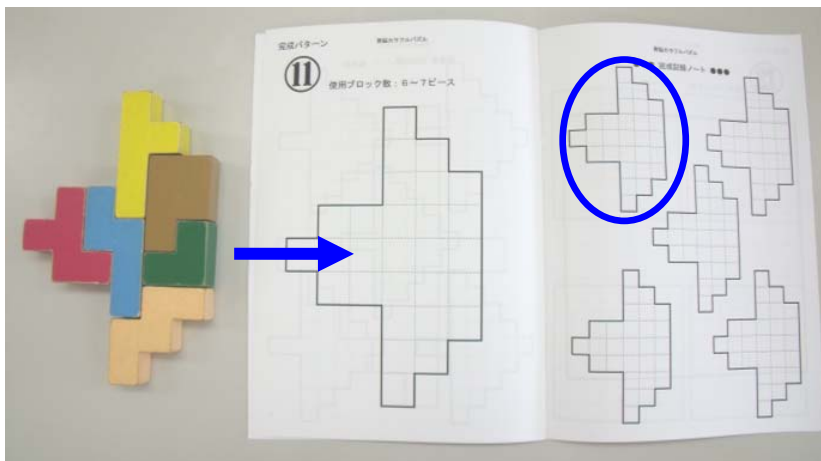
※同じ形が全て終わってから次の形(ページ)に進みます。

※ワークが3冊終了したら繰り返さずに、次回の授業からはパズルは行いません

※中には立方体や全てのピースを使い正方形を作る問題もあります。出来ない日もありますので、10分ほどかかって出来ない時は「今日はここまで。次のことをしよう」と、声かけしてあげて下さい。

※小学3年生以降に入塾した場合、Vol.1から始めると簡単すぎます。学年によってどのあたりから始めたらよいかはP9を参考にして下さい。

左ページの黒枠の中にはめていきます。
できたら右に色を塗ります。



育脳積み木

年中から全て終了するまで(1日1つ取り組み、できたら色を塗ります)

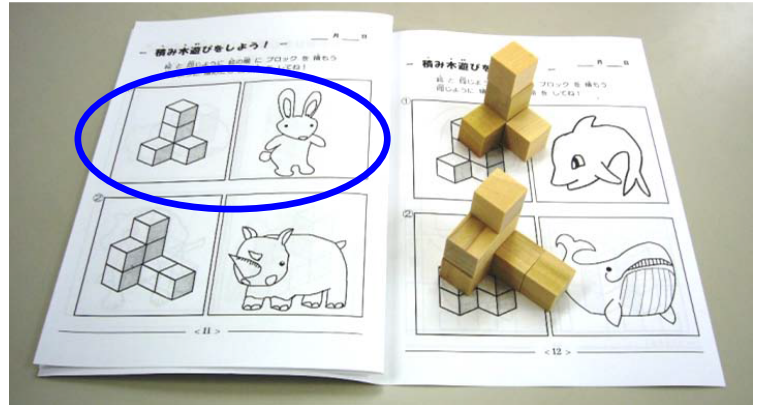
毎回1個ずつ進みます。下のようなページは、積み木を左の形と同じようにつめたら右の動物に色を塗ります。先生はそれをチェックしてチェックハンコを押してあげます。

※ワークが全て終了したら繰り返さずに、

次回の授業からは育脳積み木は行いません。

※No.5は難易度が高いので、生徒によって取り組ませるか、No.4で終了させるかご判断ください。

※問題によっては実際に積み木を積まずに数を答える問題や、位置によってどのように見えるかを答える問題もあります。その問題が解けない場合は、実際に積み木を積んで理解させてあげてください。



育脳ワーク

小学2年生から始め、8冊で終了

毎回1ページずつ進みます。育脳ワークは育脳トライアルと違い、タイムは計りません。丸つけをして日にちを記入します。答えが一つでない問題や、仲間はずれの問題ではなぜその答えを選んだのか生徒に質問して、生徒の考えを聞いてあげてください。

※3年生までは①から取り組みますが、4年生以降は⑤から始めて下さい。

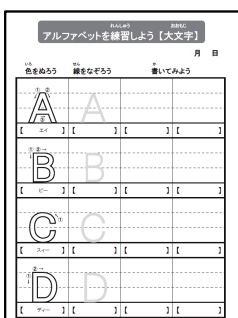
英単語練習帳

小学1年生から (何年生でも①からスタート)

基本1ページ進みます。アルファベットの太字(白抜き部分)は色鉛筆で色塗りをします。上になぞりがあるページは鉛筆でなぞり、下に練習をします。

※①・②がアルファベット大文字、③・④がアルファベット小文字、⑤～⑦がローマ字、⑧～⑫が英単語となります。

基本的には全員①からスタートして頂ければ結構ですが、例えば入塾した辞典でアルファベットは完璧というケースの場合は、アルファベットを飛ばして⑤のローマ字から始めるなど、臨機応変に対応してください。



左の白抜き部分は色塗りをします。

右の練習部分はえんぴつで練習します。



全てえんぴつで練習します。決まった線の中に書けるか、バランスがどうかチェックしてあげてください。

そろばん 年中から

年中～小学1年生までは、導入書の「たのしくそろばんれんしゅうちょう」から始めます。2年生以上で入塾した子には「たのしくそろばんれんしゅうちょう」は使用せず、「たしひき練習帳①」から始めます。授業の残り時間を見ながら、どれだけ進むかを指示してあげてください。基本的には、教材を見ていけば生徒自身ができるようになるのですが、中にはつまづく子もいますので、その場合は最初の1～2問くらいを先生と一緒に解いてあげてください。そして、残りを生徒に解かせます。(たしひき練習帳①に入ってから細かい指導方法は、各解答と一緒にまとめてありますのでそちらをご覧ください)

※「たのしくそろばんれんしゅうちょう」に関してはシールを貼る部分があるので、事前にご準備下さい。

※「たのしくそろばんれんしゅうちょう」に取り組む際は、ケタの大きいそろばんを使用するのではなく、ミニソロバンを貸してあげてください。

※たしひき練習帳③に入ると同時に、かけわり練習帳①の学習に入ります。

※そろばん学習の流れについては、別紙フローチャート(CD-Rにあります)を参考にさせていただきます。

ことばのワーク 小学校3年生から (1年生用の①から開始。復習から始めます)

毎回1ページのみ進みます。(読んで覚えるのページは読むページと答えるページで2ページ)漢字やことわざの問題などで、わからない問題があった場合は教えるのではなく、教室に辞書などを置いておき、各自で調べられるようにします。 ※各学年で取り組み始めるNoについてはP9を参考にさせていただきます。

伝えるノート 小学3年生から (基本的には①からスタート)

毎回1ページ取り組みます。できる限り5行以上を書く、できる限り知っている漢字は使うという目標を持ち、とにかく書くことに苦手意識を持たないように取り組ませてあげてください。

算数の文章問題 小学校4年生から

これに関しては残り時間によって、どこまで取り組むかを決めて頂ければ結構です。時間がたっぷり残っている場合は数ページ取り組んでも良いですし、時間があまり残っていない場合は数問だけでも良いかと思います。

もし全て解き終えた場合は、もう一度同じ問題に取り組めば復習となります。ちなみに本部教室では、3回はくり返し取り組むようにしています。

5年、6年に関してはその学年の問題を解き終えたら、前の学年の問題に取り組むのも良い復習になるかと思います。ぜひくり返し取り組んでみてください。

点線内の内容は、全員で一緒に取り組む内容です

論語・昔話 年中から (全員で一斉に)

論語・昔話共にひと月2枚ずつ進みます。

論語は1枚に2つ載せていますので、週に1個ずつ進み、月4つ(2枚)進むことになります。まず先生が読み、その後生徒が復唱します。生徒が付いてきやすいように、短めに切りながら読んであげてください。

昔話は、第1週目は読まずに各自、分からない漢字を調べて読みがなを書きます。先生が教えてあげるか、高学年がいれば、高学年に低学年の子に教えさせても結構です。調べきれなかった分は、次の授業までに調べ、ふりがなを記入して次回までに自分で読めるようにします。第2週目には全員で数行ずつ読みます。3・4週目も同じように2枚目に進みます。

※幼児は字が読めないなので、基本的には読み聞かせをします。文字を追いながら聞くだけでも結構です。少しでも読める部分があれば、読める部分だけでも読ませてあげても結構です。

十マス計算 小学1年生から (全員で一斉に)

タイムは2分間計ります。低学年は掛け算・割り算ができないので、足し算・引き算のみします。割り算の欄は、「余り」を記入します。割り切れる場合は「0」と記入します。出来た生徒は「出来た！」と言うようにし、先生はタイムを言い、自分のタイムを記入させ、随時丸つけをします。

※小学1年生でも、初め足し算はできませんので、できるようになってから取り組みます。

※Noが進むにつれて難易度が増す(小数が入っている物もあります)ので、ひたすら進むのではなく、個々のレベルに合ったNoを選んであげてください。

※No10のみ、割り算は「余り」ではなく、答えを分数か小数で答えます。

育脳トライアル 年中から (全員で一斉に)

全員で一斉にタイムを計ります。それぞれ制限時間は3分間です。出来た生徒は「出来た！」と言うようにし、先生はタイムを伝え、自分のタイムを記入させます。丸つけの際は、明らかに一つの答えしかない問題は別にして、何故その答えを選んだのか質問して、自分の考えを述べさせるようにして下さい。そして、その考えが大きく間違った内容でない場合は○をするようにして下さい。点描写は出来によって押すハンコを選んであげてください。本部教室では、線一本一本にハンコを押しています。

※幼児は字が読めない子もいますので、慣れるまでは少しフォローしてあげてください。

みんなで取り組む内容が終わったら、各自やり残している学習に戻ります。

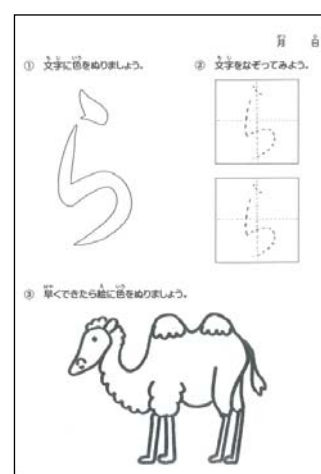
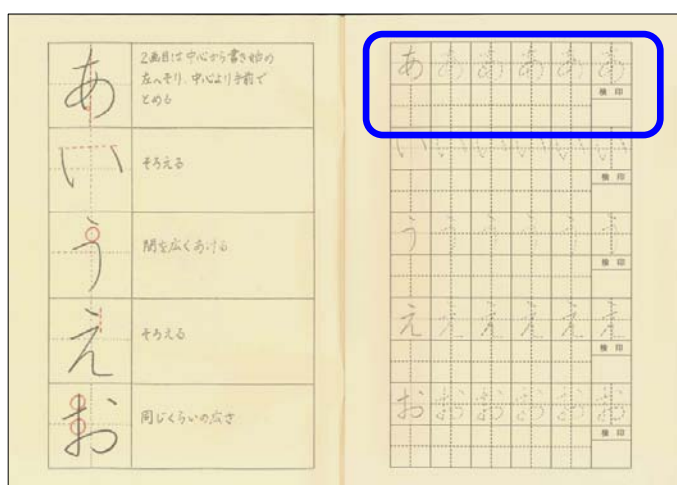
ひらがな・カタカナ練習帳 年中から

最後に綺麗な字を書いて一日の学習を終えます。1回で進むのは□で囲った一文字分だけです。ひらがなは一文字でポイントを変えて3回練習があるので、「あ」の次は「い」に進まず、次のページの「あ」、その次のページと進み、「あ」が3回終わったら、初めのページの「い」に戻ります。

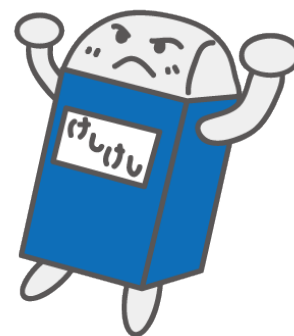
※ひらがなの①・②、カタカナが終了したら、またひらがなの①に戻ります

※幼児さんは、幼児用ひらがな練習帳が終わったら、ひらがなの①へと入ります。

幼児は1ページのみ進みます。



終わった生徒から随時帰ります。帰る際は、自分の出した消しゴムのカスを捨ててから帰ります。



9.よくある質問

Q. 授業を進めていく中で、細かい疑問点がでてくるのですが。

A. その都度メールか電話を頂ければお答えさせていただきます。また実際に生徒さんが通い始めてからもう一度授業を見学頂ければ開設前の見学では気付かなかった細かい部分に気付けますので、教室開設前に一度、開設後にもう一度見学にお越し頂くのが理想です。

Q. 育脳トライアルで3分以内にできなかった場合どうするの？

A. 問題によっては3分以内に出来ないものも出てきます。その場合、その日は「タイム記入無し」ということで時間を計り終わった後で、出来るまで取り組みます。

Q.月の途中で入塾者があった場合は？

A. 実際に寺子屋コース生がいる場合、毎月21日までに注文を頂きます。しかし、月途中で急遽入塾者があった場合は、その都度注文頂いたら結構です。例としては以下の様になります。

(例:5月初めに体験があり入塾が決定。来週から入塾しますという事なので次の注文まで待てない)

→すぐに注文頂ければ結構です。部数が少ない場合は「ネコポス」でお送りできます。その場合、請求は次の定期注文の際に合算して請求致しますので支払いは一度で済みます。(ネコポス対応範囲外の場合は代引きになりますので、ご了承下さい)

〈ご質問、ご不明点等あればお気軽にお問い合わせください〉

Ⓜ (株)育脳寺子屋MAC®

MAC真成塾(本部教室) 〒616-8156 京都府京都市右京区太秦西野町 20

☎ (075) 871-0374 (お電話は月曜日～金曜日 9:00～17:00)

メール:mac.terakoya@gmail.com (24時間受付 土日を除き、基本的には1日以内にお返事致します)

